

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



「保守の会」所属議員
ユニークな人材そろい

研修レポート③ 田代 杏夏

今回は町田茶道会(高野宗佳会長)主催で、江戸千家と裏千家の2つのお茶会に参加しました。私は高校の時茶道部に所属していましたが正式なお茶会に参加するのは初めてでした。部活ではどうしてもお点前の練習が中心になるので緊張しますが、お茶会はとても和やかで道具やお菓子の説明も丁寧に聞いてとても楽しかったです。作法が分からなかったり、間違えた時は隣に座っていた方が優しく教えてくださいました。流派によって作法は違いますが、どの流派もお客さんをもてなすということは変わりません。お茶会に参加してみて改めて茶道の奥深さを感じました。

お茶会が終わった後、代わりに署名をするように勧められましたが、私は字が下手なので断りました。今後は、書道の練習もやらないといけないと思いました。



東海大学3年生 田代 杏夏(第43期生)

研修レポート④ 田代 杏夏

今回は町田市議会の本会議と総務常任委員会を傍聴しました。本会議とは全議員で構成される会議のことで議決、同意、決定、承認などが行われます。議会の中でも特に重要な会議です。委員会は市議会に提出される議案や請願などを慎重に審査するために設けられている機関です。町田市議会には4つの常任委員会が設置されていて議員はいずれか1つの委員会に参加します。今回傍聴した総務常任委員会はその中の1つです。主に政策経営部や総務部や財務部、経済観光部などの仕事についての会議が行われます。

総務常任委員会の後、岩瀬和子委員長と面談しました。委員長の仕事は主に委員会の進行役ですが、委員会がスムーズに進行するために質問者に対する細やかな対応などが求められるそうです。

吉田議員は副委員長を務め、委員長のサポートを行っていました。吉田つとむ議員はその会議では発言していませんでしたが、本人曰く「副委員長はあまり発言をしない立場」なんだそうです。「同じ会派(グループ)の深沢議員がこの委員会では質問を担当し、自分は補佐の役目に徹する」との説明でした。



東海大学3年生 田代 杏夏(第43期生)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇高校生との意見交換会は市内の高校に限らず、市内在住で市外の高校の高校生も対象

Mail:yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅042-795-7361



一般代表は理由なく報酬減額!

今期の総務常任委員会の審査には住民請願審査はなく、条例案と予算案を審議しました。その中で、私は第13号議案に反対討論を行いました。名称は、「町田市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」案ですが、実質は審査会委員(学校給食問題協議会委員等)報酬額を変更するものでした。旧来、一律であったものを会長職、学識経験者、「その他の委員」に区分しての変更ですが、「その他の委員」においては、旧来1,0500円であったものが、10,000円に減額される内容でした。

他に理由が無く、「その他の委員」のみの報酬額を一方向的に減額する内容であり、その討論において、私は「条例案に関して、職員は4年連続で給料を引きあげておきながら、(一般代表である)その他の委員」の報酬のみを引き下げの案には反対と述べました。

ただし、こうした理解しがたい案であっても、市長案は可決となります。提案者である市長やこの条例案に賛成の立場の人は、この当事者(その他の委員)と会った時、どのように説明するのか気になります。



総務常任委員会(岩瀬和子委員長)メンバー

市の民間募集の大型施設誘致策

町田市は中心市街地に1,000席の複合映画館、15,000席の劇場、100室以上のホテルを誘致し、進出事業者には、その固定資産税相当額を補てんする構想を明らかにしました。

町田市はその中心部に長期間にわたって映画館(シネコン)を全く持たず、若者を取り込む魅力を欠いた街になっています。新たに町田市内に関わりあいを持ったネット企業の「サーバーエージェント」が、映画の分野まで町田市に進出することを期待したいと思っています。



町田市は大型の文化芸術ホールを町田市の中心部に建設しようと画策していますが、難航しているところです。民間企業が同種の大型施設を造るのであれば、町田市としては大助かりだと思います。他方で、町田市内の宿泊施設(ホテル)も不足しており、稼働率は90%以上に達しているようで、新たなホテルが早期に建設されるか、既存のホテルが大幅増床を図っていただくかの計画を期待するものと言えます。思うに、町田市の人口規模43万人からして、客室数300床クラスがあっても不思議は無いものです。

★政党無所属・市議会は保守の会 mail : yoshidaben@gmail.com

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)



メール送信

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

研修レポート②-2 田代 杏夏

今回は町田市成瀬クリーンセンターを見学しました。恩田川流域と境川流域を処理区域として受け持ち、町田市の南部の大半を占めています。



最初は施設の方にお話を聴くだけの予定でしたが、特別に処理施設を見学させていただきました。下水処理の流れはまず、4時間くらいかけて砂や石など大きなゴミを沈殿させて除去します。次に小さなゴミをゆっくり沈めた後、その上ずみ水を反応槽に送ります。反応槽では、空気を送り込むことで微生物が水中の汚れを分解する標準活性汚泥法と窒素とリンをとり除く嫌気無酸素好気法（A20法）によって汚泥処理が行われます。A20法では微生物によって汚泥中のアンモニアが窒素ガスに変化します。これを9~10時間かけて行った後、最終沈殿池で活性汚泥を沈殿させます。最後に塩素で消毒して恩田川に放流されます。

下水処理施設内は外よりも暖かく、意外と匂いもそれほどしませんでした。私はいまま

で下水処理は薬品で汚れを沈殿させていると思っていたので微生物を利用していることに驚きました。化学処理をする場合、大量に薬品を使用しなければならず施設も膨大になってしまうようですが、微生物が有機物を分解するはたらきを利用すれば薬品を使うよりも容易に下水を処理することができます。



顕微鏡で汚泥を分解する微生物を観察させていただきました。体が透けていてこんなにも小さな生物が汚れた水をきれいにする重要なはたらきをしていることを知り、生物の不思議さを実感しました。



町田市の下水処理場は、他に鶴見川流域の鶴川クリーンセンターがあります

東海大学新3年生 田代 杏夏(第43期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

町田市議会議員・情報公開

吉田つとむ

交通文化都市・若者育成の街

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守連合会派室
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学

研修レポート③秋山真聖

町田リス園にお邪魔しました。研修というより遠足みたいだと思った私は愚か者でしたが、町田リス園は最初から授産施設として生まれた施設だったのでした。

養護学校を卒業した生徒たちが、働く場所作りとして1988年に伊豆大島「りす村」の協力を得てオープンしたそうです。障がい者の雇用の受け皿として機能しています。障がい者が一般企業での就労の前に、働くという事を具体的にイメージしてもらう為に「お仕事体験」の場を提供する事も可能だそうです。2500㎡の「放し飼い広場」では、200匹のタイワンリスが餌を待っています。子どもたちは、競って餌をリスに与えるので、入り口付近に「おなかいっぱい」との案内が掲示される事もしばしばだそうです(ここが良心的)。親子連れが「巣箱作り体験」のイベントで作った巣箱が園内にあります。自分が作った巣箱にリスが入っていたら、子どもは大喜びだと思います。園も、巣箱を買わずに済み双方にプラスになるイベントとなっています。皆が幸せになる施設がある町田市をとても誇らしいと思いました。



玉川大学新3年生 秋山真聖(第43期生)

研修レポート④秋山真聖



子ども食堂「キッチン南いただきます」にお伺いしました。お昼時はとくに過ぎていましたが、親子連れが一组、子どもが2~3人まったりと過ごしていました。こちらの団体は月に一回地域の子どもたち、大人たちに美味しい食事を提供しています。月に一回、ボランティアの方々の都合を合わせ、場所の確保、材料の調達、人数が確定しない状態での調理、協力して下さる方を集める声かけなどやるべき事が多くその中で活動を続けていらっしゃる素晴らしい方たちだと心服します。アレルギー食への変更も必要に応じて対応していて、ご苦労、察するに余りあります。

私の地元でも子ども食堂を立ち上げたグループがあり、お手伝いを申し出て一回お伺いしました。しかし、地方で、交通手段が限られる土地柄であるので子どもだけでその場にやって来るのは難しいらしく、人数が集まらず撤退してしまいました。「キッチン南いただきます」は「子どもセンターばあん」に隣接している場所としては最高です。どのような家庭環境の子どもでも子ども食堂に行くのにハードルは低く親も安心して行かせられる子どもたちの居場所であると思います。

★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)